

2020年度 自己評価結果公表シート

学校法人清明学園

幼保連携型認定こども園せいめいのもり

1. 本園の教育・保育目標

★ 子どもたちへ

- ① たくましい体と思いやりのある心を持つ
- ② 相手を理解し受け止めながら、自分の気持ちを伝えられるようになる
- ③ 正しい考えを持ち、心が豊かな人間になる
- ④ 気持ちの良いあいさつができるようになる

★ 園としての運営目標

- ① こども中心・あそび中心の『こどもの城』を目指す～遊びが子どもを育てる。
- ② 心温まる愛に包まれた保育を！～保育教諭は子どもの心のサポーター
- ③ 立ち止まらず、先に目を向け意欲的に何事にも取り組む。
- ④ 家庭との連携を怠らず、『共育』の推進を図る。（親の心の声を聞く努力＝信頼関係）
- ⑤ 社会人、企業人としての自覚と言動。

2. 重点目標

こども中心あそび中心の『こどもの城』として、子どもの育ちの基本である『遊び』に没頭できる環境を重視することにより、集中力、協同性、意欲、創造性、忍耐等の様々な育ちを保障する。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
保育方針の保護者理解を深める	見学者や在園児の保護者に園長だよりや動画等の様々な情報によって、遊びの大切さや保育の質、今後について細かく伝えてきた。
子どもの様子を見取り適切な保育計画を作成する。	乳児も幼児も全体のカリキュラムや月案などを徹底的に見直し、保育にしっかり生かせる方向にさらに変えることができた。
特に幼児部の行事を、より子ども主体に変化させていく。	今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のために、多くのことが制限されたが、その中でじっくり子ども主体の行事の在り方を深く考えることができた。そして、実際にお泊まり会の今後について、わんぱくフェスティバルや発表会の内容についても、大きく改善を図ることができた。

4. 具体的な目標や計画の総合的な評価結果

新型コロナウイルスにより正常な園運営が脅かされる事案が多く発生したが、同時に危機的状況が起きても、職員の対応の素早さはもとより、保護者の皆さんの大きなご協力とご支援がこれほど受けられるのかと感動した。園と保護者、そして地域が一体となって子どもの育ちにしっかり向き合い、いかなる事態に対しても逃げることなく対応することで必ず解決していける経験したことで、次年度の運営にも大いに生かせる強い体制づくりにつながった。